



亀 KAME 山 YAMA

心地よい 亀山暮らし



亀山市

〒519-0195
三重県亀山市本丸町577番地
TEL: 0595-84-5770 (移住相談窓口)
E-mail: seisaku@city.kemayame.mie.jp



P13-14
亀山インフォメーション



暮らしは、日々の積み重ねです。
子どもたちをはじめ、
住む人々の暮らしが、
健やかであることは、
亀山市にとって、
何より大事なことでと考えます。
豊かな自然環境という土台に、
充実した子育て施策、
安心を生み出す人同士の
つながりが折り重なり、
ゆったり、のんびりと、
健やかに暮らすことが
できるまち。
そんな「住めば、ゆうゆう。」
亀山市の魅力を
ご紹介します。



閑宿紙園夏まつり
4台の山車(やま)が町を
練り歩きます。



お庭で菜園♪

地域・世代を超えて楽しく参加！
 荒廃農地の再生と特産品づくり

亀山駅前にできた図書館。
子どもに優しい設備がいっぱい。

のびのび!
かめやまっ子

$\omega \approx \gamma$
 $\omega \approx \gamma$

自然が豊かで
のどかな里山に住んで、
働くのは街へ。
亀山は、そんな暮らし方に
適した場所だと思います。



太田栄二さん
出身地／三重県鈴鹿市 居住地区／加太市場

「子育てにも適した亀山市で、
憧れの田舎暮らしを実現！」



Q 移住のきっかけを教えてください

実家が兼業農家
だったこともあり、私も将来は、自
分たちが食べるも
のは自分で作りた
いという思いがあ
りました。亀山市は交通の便が良く、
緑が多くて景観も素敵。また、当時小
学生だった娘の教育環境においても魅
力的でした。亀山市の小学校は、小規
模ですが先生の数が多く、一人ひとり
をしっかり見てくれます。中学生まで
送迎バスがある点も安心でしたね(注)

「農家とサラリーマンの
二足のわらじ」

Q 現在の暮らしは？

平日は鈴鹿市の企業に勤務、休日に農
業をしています。通勤は高速道路のイン
ターチェンジも近いので楽になりました。
せんし、出張の多い私はJRの駅が市内
にある点もとても助かっています。農
業は、最初は大根や白菜作りから始
め、今では米作りが主となっています。
山間部特有の寒暖差のある気候と加
太川のきれいな水を使って作るコシヒ
カリは、甘みが強くおいしいと県外
の方にも評判です。
おいしい作物が食べ
られて、周りの人に
も喜んでもらえて、
農業は楽しくてや
められないですね。



「近所の方が農業の
手助けをしてくれます」

Q 地域の方との交流は？



農業は、周りの人の
支えがなくてはで
きません。私の住ん
でいる地域で農業
をしているのはご
年配の方ばかりで
すが、機械を貸して
くださったり、畑の近くの空き家を農作
業用の家として使わせていただいたり、
代々大切にしてきた土地を貸してくだ
さる方も多く、今では一町五反の畑を管
理する地域一番の農家です(笑)。また、
小学校で行う自然薯づくりの実習にも
講師として参加しています。

「加太市場地域の
ブランド米を作りたい」

Q これからの目標は？

これからは、子育てがひと段落したの
で農作業にもっと力を入れていきたく
いですね。特に、亀山市での米作りで
は、コシヒカリが向いていると思うの
ですが、管理が難しいためお年寄りの
多いこの地域では避けられがちです。
それでも、皆で協力したらおいしいコ
シヒカリが作れると思うんです。いろ
んな方と一緒に
亀山市でできた
コシヒカリをプ
ランド米として
売り出せたらいい
なと思っています。
です。



コシヒカリ

歴史と伝統が息づく
宿場町「関宿」を
大工として守り、
人情味あふれるこの町で
子どもたちを育てたい。



金谷彰久さん・智子さん・咲希ちゃん・芽泉ちゃん
出身地／彰久さん：亀山市、智子さん：三重県鈴鹿市 居住地区／関町

「家業の大工を継ぎ、
家族と暮らしていきたい」

Q 亀山に住み続ける理由を教えてください



彰久さん・関宿
のある地区で
120年続く大工
の家に生まれ、
親方である祖
父や父の背中
を見て育ちま
した。現在は4
代目として、一

般的な家づくりと、関宿の歴史的建造
物の修理・修景に携わっています。関宿
は自分が子どもの頃から暮らしてき
た町。学校から帰ると近所の方に「お
帰り！」と声をかけてもらい、たくさ
んのことを教わりました。歴史があ
り、人情味あふれるここで家族と暮ら
したいと思い、今は実家の隣に家を構
えています。そんな関宿を守りたいと
いう思いから、町屋の景観を残しつつ、
現代の技術で断熱性や耐震性を向上
させる修復工事に関わっています。

「地域のつながりの中で
子どもたちは成長しています」

Q 宿場町「関宿」ならではの
子育て環境の良さを教えてください

智子さん・関宿で
は一年中、お祭り
が開かれるので、
鈴鹿市出身の私
も子どもたち
も、参加する度に
地域の方とのつ



ながりが自然と深まります。3月には
おひなさまが飾られる「東海道のおひ
なさま」、夏には4基の山車が巡行す
る「関宿祇園夏まつり」、秋には「東海
道関宿街道まつり」などが催され、と
ても賑やかです。今、子どもたちは、主
人の同級生から誘いを受け、地域の方
に夏まつりの祭囃子の太鼓を教わり、
継承しています。このことで、50年ぶり
に、祭囃子のひとつを復活させること
ができましたし、子どもたちの成長も
感じられます。

「将来も子どもたちには
関宿で暮らしてほしい」

Q これからの目標があれば教えてください



彰久さん・私が
小学生の時に
行っていた駄菓
子屋「小平屋」
は、今でも子ど
もたちが大好
きな場所です
し、かくれんぼ
をするなど関宿は子どもたちの遊び
場です。これからも温かい町の方たち
に囲まれ、自分とどのような体験をし
ながら、たくさんのことを学んで育つ
てほしいです。私自身、保育園から中
学校まで同じだった友人とは距離が近
く、大人になってからも深いつきあい
があります。子どもたちが成長した後
も、ここでともに育った友人と暮らし
てくれたらうれしいですね。そして職
人として、観光客がたくさん訪ねる、
この町の景観を守り続けたいです。

地域に根差した
魅力的なキーパーソンが
たくさんいる亀山。
直感を信じて動いたら、
ここに辿り着きました。



上谷朋大さん・成美さん
出身地／朋大さん：鈴鹿市 成美さん：喜界島 居住地区／西町

「ご縁の連なりで亀山に移住。
過不足のない暮らしです。」

Q. 亀山に移住したきっかけは？



朋大さん：亀山市の隣の鈴鹿市で育ち大阪、オーストラリアやヨーロッパで修行して、さまざまな土地で暮らした後に、ご縁があり亀山でお店を営むことになりました。私が営む「ひのめ」は、亀山の野菜と伝統的な調味料を使用したベジタリアンのコース料理を提供しています。

成美さん：私は関東で服飾デザイナーとして「相良」というブランドを展開していました。結婚を機に移住しました。都会から来て不便はないかと聞かれますが、ここにある良いものを探してやっていこうという決めているので不便を感じてはいません。

「自分たちの仕事を通じて、
地域に向けて開いていきたい」

Q. 実際に住んでみて変化したこととは？

成美さん：相良の衣ができるまでの仕事を見てもらいたいと思います。関東にいた頃は、展示巡回を全国で行っていましたが、亀山の蔵や畑のある家で作業の様子から展示販売までの衣ができる流れを見てもうえたらと思っています。



成美さん：これまで亀山高校などの教育機関で食の授業や講演会をしてきました。が、さらに多くの子どもたちに食を楽しむきっかけを作れたらいいなと思っています。



「答を与えるのではなく
共に考える場作りを」

Q. これから亀山でしてみたいことは？

成美さん：移住してから様々な世代がフラットに話せる場所を作ろうと「おかめ」という亀山コミュニティメディアを始めました。様々な疑問や課題について、答えを出してしまうのではなく、一緒に学びながら考える余白を与えられるような、やわらかな場づくりをしていきたいです。

朋大さん：これまで亀山高校などの教育機関で食の授業や講演会をしてきました。が、さらに多くの子どもたちに食を楽しむきっかけを作れたらいいなと思っています。

妻の実家があったので
たびたび訪れていた亀山。

暮らすほどにその良さが
深く実感できるように
なってきました。



岩本敏さん・俊子さん
出身地／岡山市津山市 居住地区／管内町

「義父の介助のため、
妻の実家のある管内へ」

Q. 亀山に移住された経緯を教えてください



私は東京の出版社でアウトドア雑誌『BE-PA』やシニア雑誌『サライ』などの編集長を務めてきました。しかし亀山で暮らす妻の父親に介助が必要となり、妻とともに移住することを決意したのです。私は『BE-PA』などで田舎暮らしの特集などを企画して読者に勧めてきた立場の人間ですから、都会を離れた生活も楽しいものであることを実証する責任があると思っています。前向きな気持ちで亀山に向き合ううちに、改めてたくさん

魅力が見えてきました。

「亀山は、住むのにも
出かけるのにも快適な土地」

Q. 亀山の魅力とはなんですか？

私は食いしん坊なので、昔から食べ物の美味しくない場所には住みたくなかった。と言っていたのですが、亀山は海のものも山のものも食材がとても豊富ですね。気候も穏やかで台風や大雪などの不安も少なく、安心して暮らせます。それに、日本の真ん中ですから、京都や奈良、大阪、東京などへ気軽に旅行するなど、とても便利な土地なんです。私は落語が好きで、さらに伊能忠敬と松浦武四郎という江戸から明治にかけて日本中を駆け巡った偉人の研究も

「移住先選びには、
その土地の一年を知ることが大切」

Q. 移住を考えていらっしゃる方にアドバイスを



親子で関宿散策

な昔の面影を伝える場所もあり、知れば知るほど歴史のある場所に住んでいるという幸せ感に包まれます。

まず、その土地が一年を通じて穏やかに暮らせるかどうかしっかり見た方がいいと思います。例えば新緑の頃だけを見て、すぐ気に入ったからと移住しても、大抵後悔するんですよ。最低でも一年くらい前に準備をはじめて、季節の移り変わりを一通り自分の目で確かめることをお勧めします。それと、ご自身の老後のことも考え、自動車運転ができなくなってきた時の生活なども検討されておいた方がいいのではないのでしょうか。亀山は、様々な角度から素晴らしい土地だと思いますよ。



畑で採れた自慢の野菜

都市と豊かな自然が
調和した中に、
生き生きとした
笑顔が広がります。



「ちょっと遊んでくる！」
片手でぼうしを押さえて駆け出す
子どもたちの後ろには、
鈴鹿の山並みが、出しゃばることなく、
でもどっしりと今日も暮らして
寄り添っています。
ここから流れる清水が、
ゆっくり、ゆっくりとまちを縫い、
やがて、緑の丘と便利な機能が
ほどよく混ざり合う亀山を
形づくってくれました。
あゝ帰ってきたなあと思える風景が、
ここにはあります。

～来て！見て！亀山のお楽しみイベント～



花しょうぶまつり(亀山公園)



青空お茶まつり(中の山パイロット)

約4,000平方メートルの園内には、
およそ100種類12,000株の花しょうぶが
植えられています。毎年、6月上旬には、
花しょうぶまつりが催されます。

.....
亀山市の特産品である、お茶の生産拠点
「中の山パイロット」で開催されるイベン
トで、お茶摘み体験や手もみ体験など、
お茶農家の方々との交流が楽しめます。

石水溪

市内を東西に流れる鈴鹿川の支流です。
周辺には、東海自然歩道が通り、オール
シーズン魅力ある景観が楽しめます。



亀山公園

県下屈指の菖
蒲園をはじめ、
芝生広場や大
型遊具が充実
したわんぱく
広場、歴史博物
館などがある
総合公園です。



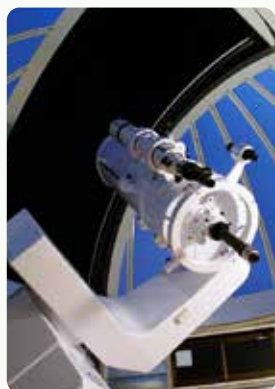
亀山サンシャインパーク

亀山PAに隣接する公園で、一般道・高
速道路の両方から入ることができます。
おもいきり走り
回れる芝生や、
子どもの冒険心
をくすぐるアス
レチック、夏場は
水遊びができる
コーナーもあり
ます。



天文台「童夢」

星がきれいに見える坂下地域にあり、無
料開放日には、天文台スタッフが操作・解
説を行います。



亀山里山公園「みちくさ」

市街地のすぐ近くにあった約3.5haの荒地
に池や湿地などの水辺を整備し、魚や鳥
など多くの生き物が生息できる里山を復
元しました。今で
は市民の憩いの
場であり、子ども
たちが里山の四
季を通して環境
のことを学べる
場所にもなって
います。



亀山森林公園「やまびこ」

豊かな自然を身近に感じることがで
き、多様な植物の宝庫で年間を通し
て楽しめる公園
です。四季の変化
を楽しむ散策は
もちろん、森林
と木材に触れ合
うイベントを開
催しています。



市民の隠れた名所 “穴虫の郷”

地元の方の憩いの場であり、蓮の名
所として知られる穴虫の郷(さ
と)。

亀山市の北部辺法寺の地域の皆さ
ん(六〇会：ろくまるかい)が、約80
アールの休耕田を整備し、ハスやア
ジサイを育てています。

「穴虫」の由来は、明治時代、当時の
辺法寺村の字名「穴虫」から。
公園には、アジサイをはじめ、ハスの
花など、色とりどりの花が咲き誇っ
ています。園内を一望できる四阿
(あずまや)もあり、小さいながら
も季節の移り変わりを楽しめる場
所となっています。

【花の見える】

アジサイ：6月から7月の間
ハスの花：6月中旬から7月中旬



優しさに包まれて、
健やかにすすくと。
豊富なサービスと施設で
子育てを応援します。



子育て支援センター「あいあいこ」があるおかげで、
専業主婦の私も、
地域の方と一緒に
のびのびと育児ができます。

桂さん「自宅から歩いて約15分の場所に、市が運営する子育て支援センター「あいあいこ」があり、本当に助かっています。週3〜4日ほど通い、母娘で依存している状態（笑）。おもちゃや絵本がたくさん揃っていますし、雨や雪の日も、天候に関係なく自由に走り回って遊べるのがいいですね。特に心強いのが、保育士の資格を持つ先生方がいてくださることなど、離乳食の相談や子どもへの接し方の相談など、子どもを遊ばせながら、心配ごとは何でも聞いています。本当に心強いです。浩大さん…妻を実家から少し離れた亀山市に連れてくるのは少し不安がありました。が、センターに通ううち、友人がたくさんできていたので私も安心しました。



前田浩大さん・桂さん・花奈ちゃん・紗ちゃん
出身地／浩大さん：亀山市、桂さん：愛知県名古屋
居住地区／羽若町

子どもが安心して過ごせる
場所をサポート

子育て支援センター



就学前のお子さん
と保護者の皆さんが安心して楽しく遊べる場所です。様々な活動を通して、お子さんの健やかな育ちをサポートしています。子育て情報の提供や育児相談、また大人も子どもも楽しめる講座を定期的に開催し、子どもたちがすすくと育つよう、色々な支援を行っています。

食のサポート

かめやまっ子給食

地産地消の取り組みとして、市内産の食材を多く使った「かめやまっ子給食」を実施しています。子どもたちの地域食材に関する知識を高め、豊かな体と心を育みます。



学習・コミュニケーションのサポート

少人数教育の
細やかな授業

市独自で先生を増やすことにより、きめ細やかな少人数教育を行っています。



安全のサポート

愛の運動

子どもたちの登下校の時間帯に、地域のボランティアの方々が通学路に立ち、子どもの安全を見守っています。



地域との繋がりを軸にした
親子の自然体験の場づくり
windsoil(ウィンドソイル)



東京・千葉で
長年、自然体
験活動に従事して
きたので、幼児
双子の子育て
中に亀山市
に移住した

時には鈴鹿山脈に囲まれた豊かな自然環境で子育てが出来ることにワクワクしました。移住者を優しく受入れてくれる温かい亀山の風土もとても有り難かったです。亀山市主催の「まちの起業人養成講座」に参加し、保健師として活躍し、地域活性に熱い想いを持っていたUターンの菊池さんと「自然の中で豊かに育ち合う場づくり」を目指してwindsoilを立ち上げました。

自然×教育×地域を軸に、乳幼児から児童親子に自然体験を提供しています。乳幼児の親子を対象にした「あおぞら」(平日月1回/毎月第2月曜日)や、幼児期〜児童期の親子を対象とした「やまのしずく」週末月1回の活動を行っています。



谷慶子さん
出身地／千葉県千葉市
居住地区／みずほ台

総合保健福祉センター



総合保健福祉センター「あいあい」は、福祉関係窓口、子育て支援センター、子ども関係窓口などがあり、子育て中の保護者の方にとっても便利です。また、温泉施設「白鳥の湯」も併設しており、天然温泉が楽しめます。

亀山ぐらしをサポート



まち全体で子育てをサポート

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うなど、子どもに関する政策を総合的に行う子ども未来部を設置しています。

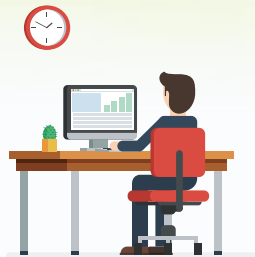
保育所・幼稚園など就学前の教育・保育をはじめ、専門スタッフが子どもの育ちに関する様々なサポートを行っています。

このほかにも、子ども医療費助成や、子どもの成長に合わせた検診や予防接種など、様々な支援を行っています。



仕事の情報

多様な産業が集積し、「ものづくり」が市の産業の特徴となっています。工業団地の整備も図られており、自動車産業や製造業等の企業を有する市町とも近く、多くの求人があります。



- 求人紹介・相談・ハローワーク 鈴鹿
TEL059-382-8609
・ハローワークインターネットサービス
<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>
- 起業支援制度があります
・亀山創業支援ネット「カメヤマ創業アシスト」
・創業・再挑戦資金融資保証料補給制度

住まいの情報

商業施設が集まり計画的に配置された住宅地や、東海道沿いの宿場町、山間の自然に囲まれた地域があり、色々なライフスタイルを選択できます。



- (公社)三重県宅地建物取引業協会
<http://www.mie-takken.or.jp/>
- (公社)全日本不動産協会 三重県本部
<http://mie.zennichi.or.jp/>
- 「亀山市空き家情報バンク」があります。

● 移住相談窓口 亀山市 政策部 政策推進課 政策調整グループ TEL:0595-84-5770
E-mail: seisaku@city.kameyama.mie.jp

亀山ぐらしQ&A



Q生活には自動車が必要ですか？

A自動車があれば便利です。

市内にはJR関西本線と紀勢本線の結節点である亀山駅を中心に5つの駅があり、亀山駅周辺の市街地では、徒歩や自転車を利用すれば日常生活には不便はないと思います。

また、駅や病院、ショッピングセンター等へ停車する、コミュニティバス等が10路線あります。

一方、市街地を離れると、起伏の多い地形ということもあり、自動車が必要品となります。

高速道路や広域幹線道路の要衝となっていますので、自動車があれば行動範囲は大きく広がります。



Q気候はどうですか？雪は多いですか？

A温暖で暮らしやすい気候です。

年間平均気温は15.7℃、冬季（1月）の平均気温は4.8℃、夏季（8月）の平均気温は27.2℃です。雪は、年2〜3回程度降ります。



※亀山市消防本部資料より平成28年の気温

Q家庭菜園をしたいと思いますか？

A家庭菜園を楽しむ環境は十分にあります。

高齢者が営んでいる農地や遊休農地は多くあります。住んで、地域の人々と接する中で農地を貸してくれる人を探してみるのはいかがでしょうか。実際、多くの先輩移住者さんは農地を借りて楽しんでいます。

また、市では年に1度、市民農園の利用者の募集を行っていますので、そういった制度を利用して始めることもできます。



Q日常の買い物をする場所がありますか？

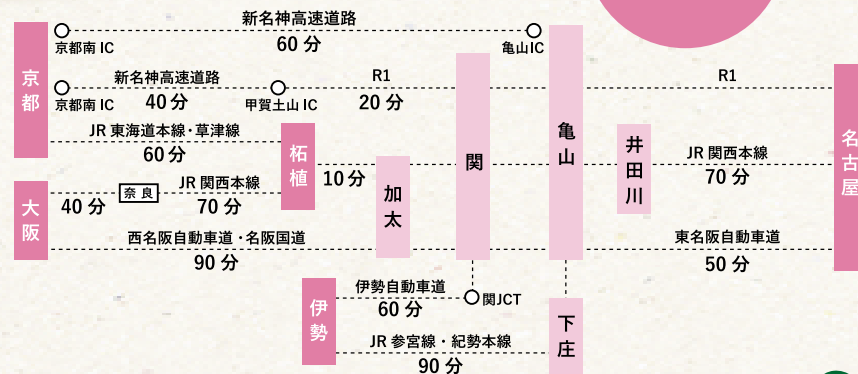
A市内のどこに住んでも車で15分程度の場所に全国展開をしているスーパーやドラッグストアが集まる商業施設があります。

ホームセンターや100円ショップのお店もあり、日常生活には困りません。道の駅やJA直営の店舗で地元野菜も買えます。

また、移動販売車が来る地域もあります。



亀山からのアクセス



東海と関西の
ちょうどまんなかで
移動に便利♪

滋賀県 甲賀市

鈴鹿峠 自然の家

坂下尋常小学校として建築。
現在はキャンプや
合宿などに利用できます。
国の登録有形文化財。

小規模特認校 白川小学校

市内に住所がある人は
学区区にかかわらず
入学・転校できます。
国の登録有形文化財。

関中学校

優れた公共建築に
贈られる公共建築賞の
生活施設部門で、
国土交通大臣表彰を
受賞しました。

加太農産物
特産品を作り、
地域の活性化を
図っています。

坂本棚田
日本の棚田
100選に
選ばれています。

「住めば、ゆうゆう。」
亀山ぐらしを、
始めてみませんか。

古くから交通の要衝としてさかえた亀山市は、
現在も高速道路や鉄道が交わり、その利便性は健在です。
緑あふれる丘陵地には茶畑が広がり、
かつての宿場町が江戸時代の面影を残す一方、
すぐそばには住宅地や暮らしに便利な施設が
コンパクトに整っています。

東と西の道が交わる
小さくても便利なまち、亀山市。

数字で見る亀山②

子育て施設

- ・保育所／12
- ・認定こども園／2
- ・小規模保育事業所／2
- ・子育て支援センター／5

教育施設

- ・幼稚園／5
- ・小学校／11
- ・中学校／3
- ・高等学校／2
- ・専門学校／1

医療機関

- ・病院・診療所／32
- ・歯科／17



数字で見る亀山①

人口(令和5年3月1日現在)
49,431人

世帯数(令和5年3月1日現在)
22,180世帯

面積
・191.04km²
・東西の延長 約21km
・南北の延長 約17km



亀山中心部から津市の
県庁、県立美術館・博物館まで
車で約30分

亀山駅から
津駅まで
3駅約20分

亀山中心部から鈴鹿市の
大型ショッピングモールまで
車で約20分

鈴鹿市

津市

伊賀市